

基本方針（案）

泉州地域担当副会長 山下 直人
（J C I 泉南）

新型コロナウイルスの感染が未だ収束には至っておらず、関西国際空港を要する泉州地域の経済は打撃を受け、繰り返される緊急事態宣言により、人と人とのつながりが薄くなっています。誰もが経験したことのないこのような息苦しい世の中の現状において、我々泉州の青年会議所は、待つのではなく、泉州 7 L O M が密に協力し、能動的青年経済人の集まりとして、愛をもって人と人をつなげられるよう、運動を発信する必要があります。

まずは、大阪ブロック協議会として泉州地域の課題を見つめ直すために、収集した情報を泉州地域 7 L O M とコミュニケーションを取ることで共有し、方向性を 1 つにして解決いたします。さらに、多くの情報を得て影響力を増して運動を発信するために、会員拡大が必要です。経済が停滞し、コミュニケーションが薄れ、その中で拡大していくために、L O M 単体で拡大するのではなく、地域全体で候補者や地域の情報を共有し、連携して取り組むことで、泉州地域全体の会員拡大を成功させます。そして、多様な人財が活躍できる組織とするために、大阪ブロック協議会のロールモデルを泉州地域 7 L O M と情報共有することで、視野を広げ、新たな価値観をもったメンバーを育てていきます。また、泉州地域では A S P A C 堺高石大会があり、海外の L O M から情報を得る機会を無駄にしないために、これを始まりとして、海外 L O M との連携強化を図り、今後の運動に活かします。そして、今後海外の方がより多く泉州地域に来て頂くために、防災、減災、感染症対策の情報を共有して 7 L O M の方向性を 1 つにし、各地協力団体と連携して対策いたします。

2022 年は、関西国際空港を要する泉州地域の青年会議所として協力し、地域の特性を活かして国際的な視野をもち、待つのではなく、人と人をつなげ泉州地域から大阪へ大阪から世界へ向けて、魅力ある運動を発信することで、愛溢れる未来都市大阪を実現します。

■独自の事業概要

1. 理念共感による会員拡大と教育

拡大や出向に対しての意識を変えてくために、大阪ブロック協議会が主催する理念共有や拡大の事業、アカデミーへの参加を推進します。そして、拡大担当が共に参加、情報交換することで、拡大とへつなげます。また、J C プログラム活用の推進及びトレーナー育成の推進のために事業、アカデミーへの参加を推進し、トレーナーを育成します。

K P I : 期首会員数の 2 % 純増（期首会員 408 名予定）トレーナー 1 名育成

2. 多様な人財が活躍できる組織改革

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

32 個人の環境に左右されない組織にするために、前期は育児を行いながらＪＣ活動に
33 参加しているロールモデルを学び、地域に落とし込む準備を始めていきます。後期は
34 実践し、検証していくことにより、該当メンバーを育成します。

35 K P I : 毎月１回地域への情報提供を行う

36 子育て中でも例会、事業に参加することが出来る該当メンバーを１名育成

37 ３．地域独自の事業

38 泉州地域の情報を密に共有し、今一度友情を深めるために、人と人をつなぐという
39 点に焦点を当てた泉州地域の事業を行うことで、方向性を１つにしていきます。

40 K P I : 直近３年間の泉州地域合同例会への平均出席率に対して１５％増

41 ■パートナー

42 泉州地域７ＬＯＭ（協力）、泉州地域商工会議所（協力）、泉州地域各自治体（協力）、
43 大阪府（協力）、ＪＣＩ日本（協力）